

進級、入学おめでとうございます！  
18回生へのオリエンテーションも終わり  
館内でくつろぎながら過ごしているようすがみられます。  
ぜひ学年をこえた情報交流の場としてください



## ■今月の新着図書から



『自分の意見ってどうつくるの?』分類 100  
平山美希 / WAVE 出版

「何を言えばいいかわからない」  
「あたりまえのことしか浮かばない」  
など、「あなたはと思う?」と聞かれたときに、あたふたしないですむための本です!



『わかり合えないからはじめる国際協力』  
吉岡大祐 / 旬報社

著者の吉岡さんは、22歳でネパールへ。現地のことを知るうちに、子どもたちのために教育支援をはじめること。国際協力って? その本音が語られています。



『天気のことわざは本当に当たるのか考えてみた』  
猪熊隆之 / ベレ出版

「カエルが鳴くと雨」「暑さ寒さも彼岸まで」など、天気にかんすることわざって、どこまで科学的根拠にもとづいているのでしょうか? その謎がこの本を読むとわかりますよ。



『まちかどガードパイプ図鑑』分類 514  
岡元大 / 創元社

歩いていると見かけるガードパイプ。でも地域によって、こんなにデザインが違うの!? という驚きに満ちています。東京都道と区道の境界では、管理する自治体で突然デザインが変わるなど、眺めて楽しい一冊。



『君を守ろうとする猫の話』分類 913  
夏川草介 / 小学館

中学2年のナナミは、図書館で本がなくなること不思議に思い、探っているうちに、ひすい色の目をした猫と出会います。『本を守ろうとする猫の話』の続編。ついに猫の正体も明らかに?



『でいすべる』分類 913  
今村昌弘 / 文藝春秋社

小学校最後の夏休み。6年生の3人組が、クラスの掲示板係となり、町の七不思議を追っていく。小学生には会話が大人びている感じがしますが、ミステリーが好きな人はぜひどうぞ。

## この本、オススメ!

### 『13歳から鍛える 具体と抽象』 細谷功

東京経済新報社

「具体」「抽象」という言葉は知っていても、言葉で説明するとなると少し難しいかもしれません。でも、私たちは毎日のように「具体」と「抽象」を使いこなしながら生活していることが、この本を読むとよくわかります。勉強への効果だけでなく、人生も豊かになる「具体」と「抽象」の関係は、けして13歳だけではなく、大人にも頭の整理になりました!IB教育を受ける皆さんには、なおさらオススメです。



### ●「教科書に掲載されている 古典・近代文学の洋書」コーナーの移設

昨年まで館内検索機のそばにあった「教科書に掲載されている 古典・近代文学の洋書」コーナーですが、ここ数年で本が増えたため、窓辺の絵本コーナーの向い側にうつしました。これまでは英語の本が中心でしたが、中国語版や韓国語版も少しずつ加わってきています。

例えば、芥川龍之介の『羅生門』(英語版・中国語版・韓国語版)→3冊ならんでいます。

日本語で古典や近代文学を読むことが難しい人は、まず母語でチャレンジするのもおすすめです。

『源氏物語』『平家物語』『奥の細道』『伊勢物語』『人間失格』『山月記』……など多数ありますよ!

今後も増やしていく予定です。



**本棚**ここ数年入学式には間に合わなかった桜ですが、三月中旬の低い気温のおかげで今年は四月に入ってもしばらく満開でしたね。皆さんも春休み中からこちらで満開の桜を眺めることができたのではないのでしょうか。メディアセンターでも「友達と一緒に花見したよ」という人が写真をみせてくれました。でも桜ではなくお弁当の写真ばかり。どうやら「花より団子」だったようです。◀四月から雑誌のタイトルを一部入れ替え、あらたに「サッカーキング」「旅と鉄道」「装苑」というファッションの雑誌が入りました。関心のある人はぜひお休み時間に来てください。今年度も本のことだけではなく、皆さんと様々な話をしながらメディアセンターを運営していきたいと思っていますので、何か要望がありましたら気兼ねなく司書に声をかけてください(渡邊)